



ラテン・アメリカ政経学会

Japan Society of Social Science on Latin America

2007 年度
第 44 回全国大会プログラム

The 44th Annual Meeting of
the Japan Society of Social Science
on Latin America

2007 年 10 月 27 日 (土) 28 日 (日)

会場：南山大学名古屋キャンパス

D 棟 B1 教室

10月27日(土)

12:00 - 13:00 理事会 J棟1階特別合同会議室

12:10 - 受付 D棟北側入り口

13:00 - 14:45 研究報告 「産業政策」 D棟B1教室

(報告20分、討論5分、質疑応答10分)

司会：今井圭子(上智大学)

河合沙織(神戸大学大学院)「ブラジルの地域間賃金格差と産業構造」

—討論者：小池洋一(立命館大学)

田島陽一(東京外国語大学)「減退期におけるマキラドーラ産業からの教訓」

—討論者：安原 毅(南山大学)

坂口安紀(アジア経済研究所)「チャベス政権の石油政策：産業構造と技術の視点から」

—討論者：西島章次(神戸大学)

14:45 - 14:55 コーヒーブレイク

14:55 - 16:05 研究報告 「代替経済モデル」 D棟B1教室

(報告20分、討論5分、質疑応答10分)

司会：山崎圭一(横浜国立大学)

松井 謙一郎(国際通貨研究所)「『南米地域通貨バスケット・乖離指標』の試算と活用の可能性」

—討論者：今村 卓(丸紅経済研究所)

Alcorta, Juan Alfredo(新潟大学大学院)“Ciclos neoliberales y economías solidarias en Argentina y Japón: una comparación tentativa.”

—討論者：宇佐見耕一(アジア経済研究所)

16:05 - 16:15 コーヒーブレイク

16:15 - 18:00 研究報告 「国際関係」 D棟B1教室

(報告20分、討論5分、質疑応答10分)

司会：小池洋一(立命館大学)

谷 洋之(上智大学)「高付加価値農業の萌芽?:メキシコのトマト輸出をめぐる最近の動向」

—討論者：山本純一(慶應義塾大学)

澤田眞治(岐阜大学)「世界秩序転換期ブラジルの安全保障と政軍関係」

—討論者：住田育法(京都外国語大学)

田中 高(中部大学)「中米における産業内貿易の計測」

—討論者：内多 充(名古屋文理大学)

18:10 - 20:10 懇親会

南山大学学生会館コパン 2F イタリアン・レストラン Buono(ブオーノ)

Tel. 052-323-7752

10月28日(日)

8:50 - 受付 D棟北側入り口

9:00 - 10:45 研究報告第 「社会構造」 D棟 B1 教室

(報告 20 分、討論 5 分、質疑応答 10 分)

司会：辻 豊治(京都外国語大学)

村上善道(東京大学大学院)「チリにおける社会経済構造の変化と賃金格差の要因 1970 - 2003 年」

—討論者：浜口伸明(神戸大学)

内田智允(独立行政法人国際協力機構)、山崎圭一(横浜国立大学)

「中南米出身出稼ぎ労働者と家族の最近の動向に関する一考察」

討論者：柳沼孝一郎(神田外語大学)

住田育法(京都外国語大学)「ブラジル・リオデジャネイロの低所得者層共同体の問題」

—討論者：近田亮平(アジア経済研究所)

10:45 - 10:55 コーヒーブレイク

10:55 - 11:55 会員総会 D棟 B1 教室

11:55 - 12:55 昼食 D棟 2階会議室 (事前予約された方に弁当を配布いたします)

12:55 - 14:20 特別パネル D棟 B1 教室

主題 「人間の安全保障と地域研究 ~アフリカとラテン・アメリカからの視点」

司会：安原 毅(南山大学)

講演：峯 陽一(大阪大学)

「グローバル化に抗する人間の安全保障 ~その可能性のスケッチ」

発表：幡谷則子(上智大学)「紛争地域での草の根開発と和平構築運動」

14:20 - 14:30 コーヒーブレイク

14:30 - 17:00 シンポジウム D棟 B1 教室

主題 「社会開発政策の各国比較と展望」

14:30 - 15:50 報告(各 20 分)

コーディネータ：田中 高(中部大学)

報告：宇佐見耕一(アジア経済研究所) 「アルゼンチン、ベネズエラ、ブラジル」

鹿戸丈夫(米州開発銀行アジア事務所)「ラテン・アメリカの社会開発と IDB」

近田亮平(アジア経済研究所) 「ブラジル」

受田宏之(東京大学非常勤) 「メキシコ」

16:00 - 17:00 論評(30分) 全体討論(30分)

—討論者：山本純一(慶應義塾大学)、田村梨花(上智大学)

全体討論

特別パネル 講師紹介

峯 陽一（みね よういち）

1961年熊本県生まれ。中部大学国際関係学部助教授を経て、現在は大阪大学人間科学研究科准教授。専門は開発経済学／アフリカ地域研究。1998年から2000年まで南アフリカ共和国ステレンボッシュ大学客員教員。

主な著書に『南アフリカ - 『虹の国』への歩み』（岩波書店）、『現代アフリカと開発経済学』（日本評論社）、『憎悪から和解へ - 地域紛争を考える』（共編／京都大学学術出版会）、ガーシェンクロン『後発工業国の経済史』（共訳／ミネルヴァ書房）など。

特に 国際協力総合研修所 調査研究グループ調査研究 『貧困の削減と人間の安全保障』（Discussion paper 2005）http://www.jica.go.jp/branch/ific/jigyoreport/field/200511_pov.html に所収の 第3章補論「人間の安全保障とダウンサイド・リスク」、第7章「モザンビークにおける人間の安全保障 - ポスト・コンフリクト国の事例研究 -」を今回の講演のテキストとしてご一読頂きますようお願い致します。